

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2018年3月期 第1四半期 連結決算概況と通期見通し

2017年8月8日
オリンパス株式会社
取締役副社長執行役員 CFO
竹内 康雄

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性を照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

IFRS任意適用について

- 当社グループは2018年3月期第1四半期連結累計期間の連結財務諸表より、国際財務報告基準（“IFRS”）を任意適用しています。
- 比較分析のため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましてもIFRSに準拠して表示しています。

第1四半期実績

- 連結：売上高は増収。営業利益は若干減益も当期利益は12%増益
- 医療：増収減益も期初計画に沿って進捗
- 科学・映像：前年同期比では損益が改善

通期業績見通し

- 期初計画から見通しに変更無し

- 2018年3月期 第1四半期決算における主なポイント
- 連結実績 売上高は2%の増収。営業利益は若干減益となったものの、当期利益は12%の増益
- 医療事業 前年同期比では増収減益となったものの概ね期初計画に沿って推移
- 科学・映像事業 前年同期比で損益が改善
- 通期業績見通し 5月2日に公表した期初の計画から変更無し

2018年3月期 第1四半期 連結業績および事業概況

2018年3月期 第1四半期実績 ①連結業績概況

- ① 売上高は前年同期比2%増収、営業利益は前年同期比5%の減益も期初計画に沿った進捗
- ② 当期利益は金融費用および税金費用の減少により12%増益

(単位：億円)	2017年3月期	1Q実績(4-6月)		前年同期比	為替影響調整後
		2017年3月期	2018年3月期		
売上高	1,686	1,718	+2%	+1%	
売上総利益 (売上総利益率)	1,113 (66.0%)	1,129 (65.7%)	+1%	0%	
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	960 (57.0%)	995 (57.9%)	+4%	+3%	
その他の収益および費用等	▲19	▲7	-	-	
営業利益 (営業利益率)	134 (7.9%)	127 (7.4%)	▲5%	▲13%	
税引前利益 (税引前利益率)	113 (6.7%)	119 (6.9%)	+5%		
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	90 (5.3%)	101 (5.9%)	+12%		
円/USD	108円	111円			
円/Euro	122円	122円			

6 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- 2018年3月期第1四半期連結実績
- 売上高 前年同期比2%増 1,718億円
- 営業利益 前年同期比5%減 127億円
- 増収減益も期初計画に沿った進捗
- 当期利益は前年同期比12%増益

2018年3月期 第1四半期実績 ②セグメント別概況

- ① 医療事業は3%増収となり、全社業績を牽引
- ② 科学・映像事業は前年同期から損益が改善

1Q実績 (4-6月)

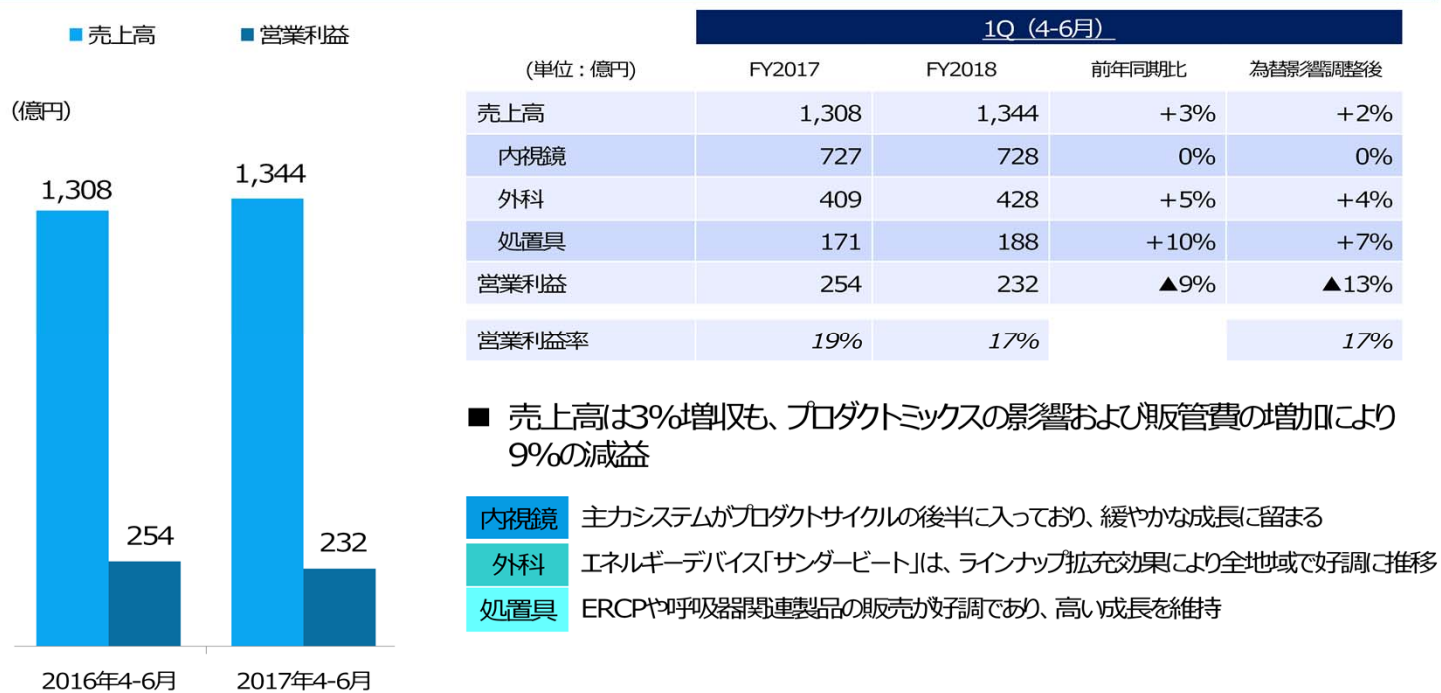
(単位：億円)		2017年3月期1Q	2018年3月期1Q	前年同期比	為替影響調整後
医療	売上高	1,308	1,344	+3%	+2%
	営業利益	254	232	▲9%	▲13%
科学	売上高	186	200	+7%	+6%
	営業利益	▲11	▲6	+5億円	+3億円
映像	売上高	153	151	▲1%	▲2%
	営業利益	▲3	9	+12億円	+13億円
その他	売上高	40	23	▲42%	▲42%
	営業利益	▲10	▲5	+5億円	+5億円
全社・消去	売上高	-	-	-	-
	営業利益	▲97	▲103	-	-
連結合計	売上高	1,686	1,718	+2%	+1%
	営業利益	134	127	▲5%	▲13%

7 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- セグメント別の概況
- 医療事業
 - 売上高1,344億円、営業利益232億円
 - 3%増収
- 科学事業
 - 売上高200億円、営業損失6億円
 - 前年同期から5億円損益が改善
- 映像事業
 - 売上高151億円、営業利益9億円
 - 前年同期の営業損失から黒字転換

2018年3月期 第1四半期実績 ②医療事業



8 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- 医療事業
- 売上高 前年同期比3%増収 1,344億円
- 営業利益 前年同期比9%減益 232億円
- 消化器内視鏡分野 主カシステムがプロダクトサイクルの後半に入っており、前年並みの売上
- 外科分野 ラインナップ拡充効果により、全地域でサンダービートが好調に推移し、5%増収
- 処置具分野 ERCPや呼吸器関連製品の販売が好調であり、10%増収と高い成長を維持
- 営業利益は、プロダクトミックスの影響および一時的な要因を含む販管費の増加により、9%の減益となったが、計画上の進捗通りであり、通期での利益目標に変更なし

2018年3月期 第1四半期実績 ②医療事業（現地通貨ベース成長率）

- 日本 : 低調な予算執行の影響を受けてはいるものの進捗は当初想定通り
- 北米 : 期初に見込んだ通りほぼ横ばいでの推移
- 欧州 : 前年度4Qの高い成長の反動による影響もあり、ほぼ前年並みの実績
- アジア・オセアニア : 2桁の伸びを継続し、川筋順な成長

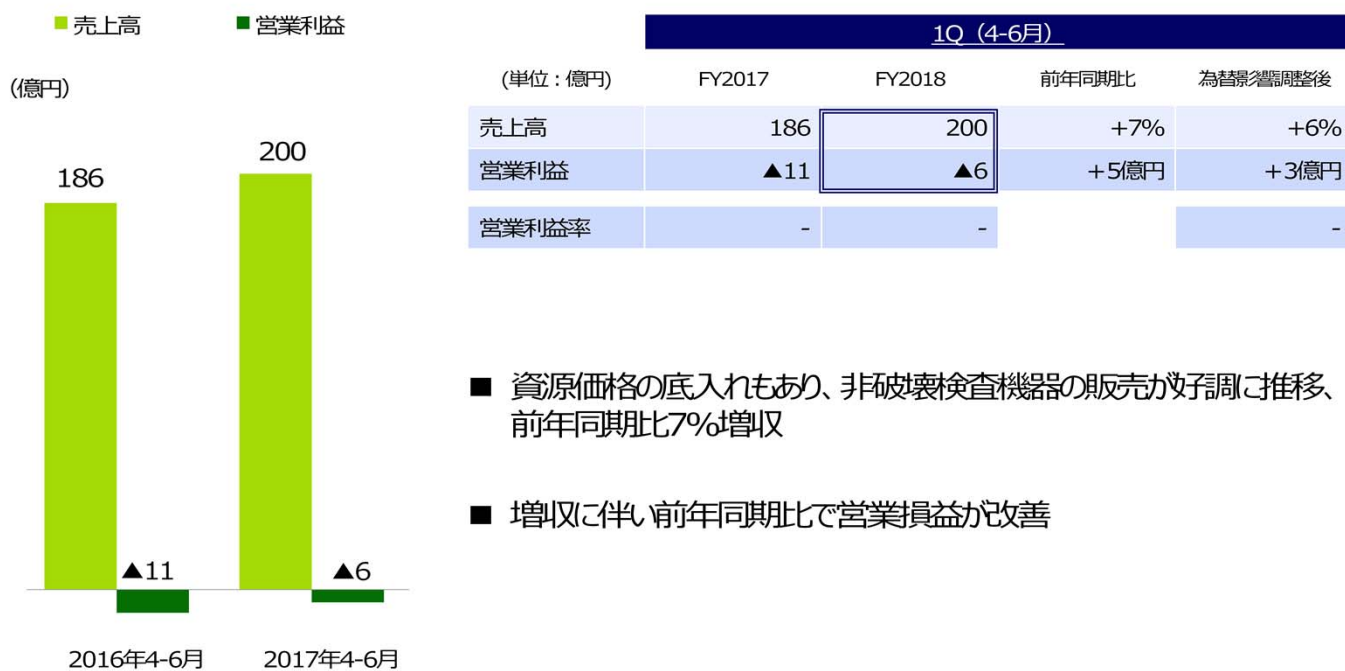
地域別	FY2016				FY2017				FY2018
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	▲3%	6%	4%	5%	3%	0%	▲1%	▲1%	▲1%
北米	5%	9%	4%	3%	▲4%	6%	3%	0%	▲1%
欧州	8%	11%	6%	5%	7%	1%	5%	16%	▲1%
アジア・オセアニア	20%	8%	4%	11%	23%	9%	18%	11%	16%
連結	7%	9%	4%	5%	3%	4%	5%	5%	2%

9 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- 医療事業の地域別成長率
- 日本、北米、欧州は、前年同期比横ばいだが、ほぼ期初の想定通りに進捗
- 欧州については、前年度の第4四半期が16%成長と高い成長率だったため、その反動による影響もあり
- アジア・オセアニアでは中国を中心に2桁の伸びを継続し、順調に推移

2018年3月期 第1四半期実績 ③科学事業

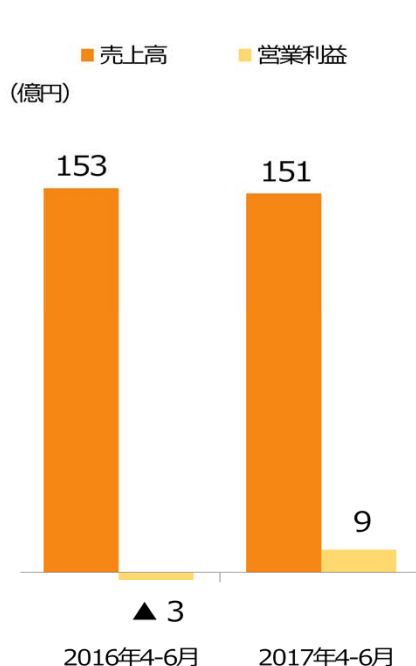


10 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- 科学事業
- 売上高 前年同期比7%増収 200億円
- 営業損益 5億円改善し、6億円の損失
- 資源価格の底入れもあり、主に非破壊検査機器の販売が好調に推移したことから、増収
- 営業損益は、売上の増加に伴い、損失幅が縮小

2018年3月期 第1四半期実績 ④映像事業



(単位: 億円)	1Q (4-6月)			
	FY2017	FY2018	前年同期比	為替影響調整後
売上高	153	151	▲1%	▲2%
ミラーレス	102	116	+14%	+13%
コンパクト	36	23	▲37%	▲38%
その他	14	12	▲13%	▲14%
営業利益	▲3	9	+12億円	+13億円
営業利益率	-	6%		7%

- 映像事業全体では減収も、ミラーレス一眼は販売が堅調に推移したことにより14%の増収
- 収益性の高いミラーレス一眼の増収効果に加え、在庫・費用の適正なコントロールにより収益性が改善し、黒字化

OLYMPUS

11 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

● 映像事業

- 売上高 前年同期比1%減収 151億円
- 営業損益 前年同期の3億円の営業損失から一転し、9億円の黒字
- 映像事業全体では市場の縮小を受け1%の減収
- 一方で、ミラーレス一眼に限って見ると新製品を中心に販売が堅調に推移しており、14%の増収
- 営業損益は、収益性の高いミラーレス一眼の増収効果に加えて、在庫・費用を適切にコントロールしたことにより、前年同期比で12億円改善し、9億円の黒字

財政状態計算書

- 資本 : 当期利益101億円の計上により利益剰余金が増加
- 自己資本比率 : 利益剰余金の増加および有利子負債を圧縮したことで41.5%

(単位：億円)	2017年 3月末	2017年 6月末	増減額		2017年 3月末	2017年 6月末	増減額
流動資産	5,057	5,013	▲45	流動負債	2,865	2,821	▲44
非流動資産	4,543	4,656	+113	非流動負債	2,774	2,819	+45
(うち：有形固定資産)	(1,597)	(1,622)	(+25)	(うち：社債・長期借入金)	(2,172)	(2,172)	(0)
(うち：無形資産)	(759)	(790)	(+31)	資本	3,962	4,029	+67
(うち：のれん)	(956)	(1,019)	(+64)	(自己資本比率)	(41.1%)	(41.5%)	(+0.4pt)
資産合計	9,600	9,669	+68	負債 資本合計	9,600	9,669	+68
				有利子負債：2,840億円 (2017年3月末比▲20億円)			

- 財政状態
- 総資産は、前期末とほぼ変わらず9,669億円
- 資本は当期利益101億円の計上により前期末比67億円増の4,029億円
- 有利子負債の削減も進んだ結果、自己資本比率は0.4ポイント改善し41.5%

連結キャッシュフロー計算書

■ FCF：ISM社*買収に伴い87億円の支出があった影響で、フリーキャッシュフローは7億円のマイナス

(単位：億円)	2017年3月期1Q	2018年3月期1Q	増減
売上高	1,686	1,718	+32
営業利益	134	127	▲7
(営業利益率：%)	7.9%	7.4%	▲0.5pt
営業キャッシュフロー	249	201	▲47
投資キャッシュフロー	▲126	▲208	▲83
財務キャッシュフロー	12	▲101	▲113
フリーキャッシュフロー	123	▲7	▲130
現金及び現金同等物期末残高	1,694	1,901	+207
減価償却費	127	127	0
設備投資額	174	158	▲16

- キャッシュフローの状況
- 営業キャッシュフローは201億円
- 投資キャッシュフローは、前年同期から83億円減少し208億円のマイナス
- 当年フリーキャッシュフローは7億円のマイナス

2018年3月期 通期業績見通し

2018年3月期 通期業績見通し

- 2018年3月期の見通しは5月に公表の数字から変更無し
- 売上高は前期比3%増収、営業利益は同11%増益

(単位：億円)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (最新見通し)	増減	前期比
売上高	7,406	7,660	+254	+3%
売上総利益 (売上総利益率)	4,785 (64.6%)	5,050 (65.9%)	+265	+6%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	3,977 (53.7%)	4,210 (55.0%)	+233	+6%
その他の収益および費用等	▲96	▲50	+46	-
営業利益 (営業利益率)	712 (9.6%)	790 (10.3%)	+78	+11%
税引前利益 (税引前利益率)	625 (8.4%)	720 (9.4%)	+95	+15%
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	428 (5.8%)	550 (7.2%)	+122	+29%
EPS	125円	161円	2018年3月期年間配当 期末配当28円を予定 (変更なし)	
円/USD	108円	110円		
円/Euro	119円	115円		

15 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- 2018年3月期の通期業績見通し
- 5月に公表した数値から、変更無し
- 為替レートは、通期で1ドル110円、1ユーロ115円と期初の前提のまま変更無し
- 今回、前年の実績をIFRSベースに置き換えて公表
- IFRSベースでの今期の売上高 前期比3%増収の7,660億円
- 営業利益 前期比11%増益の790億円
- 配当は、期初の配当予想を据え置き、2018年3月期、期末配当として28円を予定

2018年3月期 セグメント別業績見通し

■ 2018年3月期の見通しは5月に公表の数字から変更無し

(単位：億円)		2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (最新見通し)	増減	前期比
医療	売上高	5,704	5,980	+276	+5%
	営業利益	1,147	1,230	+83	+7%
科学	売上高	934	950	+16	+2%
	営業利益	59	60	+1	+1%
映像	売上高	628	640	+12	+2%
	営業利益	2	10	+8	+553%
その他	売上高	140	90	▲50	▲36%
	営業利益	▲11	▲60	▲49	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-
	営業利益	▲485	▲450	+35	-
合計	売上高	7,406	7,660	+254	+3%
	営業利益	712	790	+78	+11%

OLYMPUS

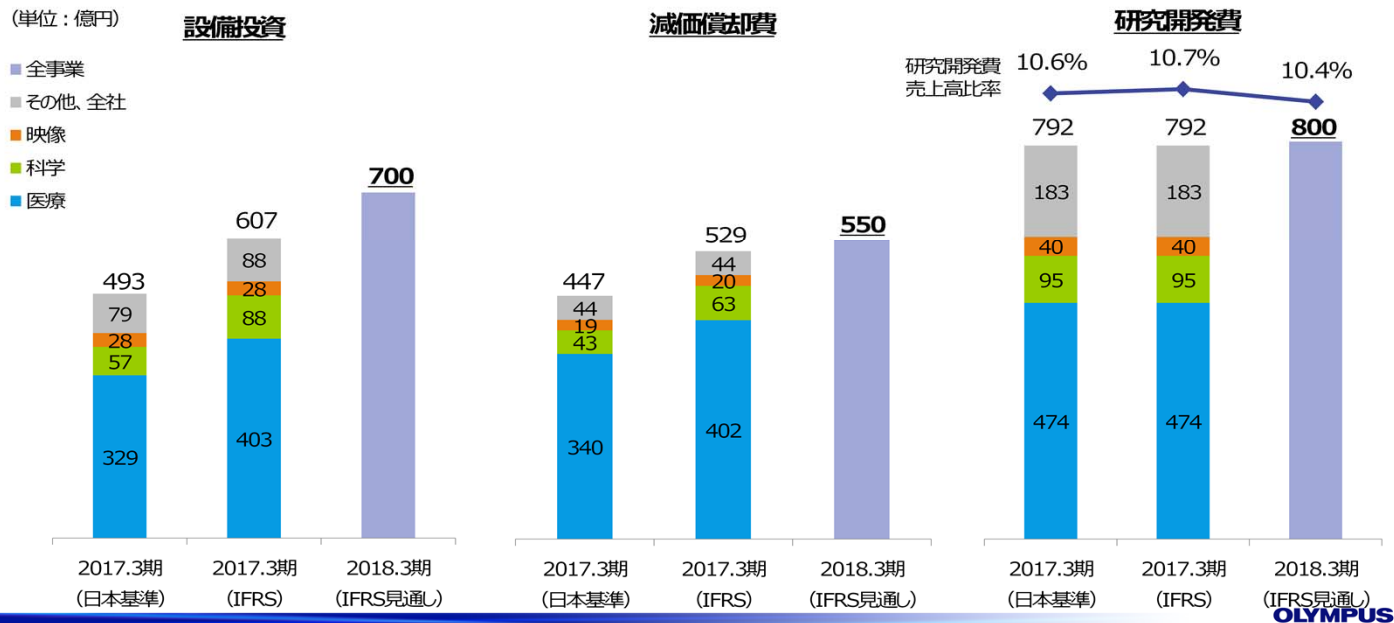
16 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

- セグメント別の業績見通し
- 期初はセグメント別の数字を日本基準で公表していたが、今回は実績、見通しとも全てIFRSベースでの数字
- 医療事業
- 売上高は前期比5%の増収、営業利益は7%の増益を見込む
- 科学事業、映像事業
- 増収増益の見通し
- 3事業全てで増収増益を見込む

設備投資および研究開発費

- 北米・欧州・ベトナムの開発・製造・修理拠点等拡張のため、設備投資が増加
- 消化器内視鏡主力システムの次世代後継機開発に向けて、研究開発費が増加も対売上高比率は抑制

(単位：億円)



17 2017/8/8 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

- 2018年3月期の設備投資および研究開発費の見通し
- 設備投資
- 700億円を見込む
- 研究開発費
- 前期から8億円増加の800億円を見込む
- 対売上高比率は、効率化を進め、前期より0.3pt低下する見込み



OLYMPUS

Appendix

【参考資料・IFRS比較】2017年3月期通期実績

(単位：億円)	2017年3月期実績	2017年3月期実績	差異
	(日本基準)	(IFRS)	
売上高	7,481	7,406	▲75
営業利益	765	712	▲53
税引前利益 [IFRS] 税金等調整前当期純利益 [日本基準]	817	625	▲192
親会社の所有者に帰属する当期利益 [IFRS] 親会社株主に帰属する当期純利益 [日本基準]	782	428	▲354

【参考資料・IFRS比較】2017年3月期セグメント別実績

(単位：億円)		2017年3月期実績	2017年3月期実績	差異
		(日本基準)	(IFRS)	
医療	売上高	5,753	5,704	▲49
	営業利益	1,155	1,147	▲8
科学	売上高	932	934	+2
	営業利益	53	59	+6
映像	売上高	656	628	▲28
	営業利益	5	2	▲3
その他	売上高	140	140	0
	営業利益	▲46	▲11	+35
全社・消去	売上高	-	-	-
	営業利益	▲402	▲485	▲83
連結合計	売上高	7,481	7,406	▲75
	営業利益	765	712	▲53

【参考資料・IFRS比較】2017年3月期経営指標

指標名称	2017年3月期 (日本基準)	2017年3月期 (IFRS)
ROE	19.3%	11.3%
営業利益率	10.2%	9.6%
EBITDA	1,298億円	1,240億円
自己資本比率	43.3%	41.1%

【参考資料】2018年3月期 通期業績見通し（上期／下期）

(単位：億円)	2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (見通し)		前年同期比 (%)	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	3,487	3,918	3,660	4,000	+5%	+2%
営業利益 (営業利益率)	352 (10.1%)	360 (9.2%)	350 (9.6%)	440 (11.0%)	▲1%	+22%
税引前利益 (税引前利益率)	309 (8.9%)	316 (8.1%)	320 (8.1%)	400 (10.0%)	+4%	+27%
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	234 (6.7%)	194 (5.0%)	270 (7.4%)	280 (7.0%)	+16%	+44%

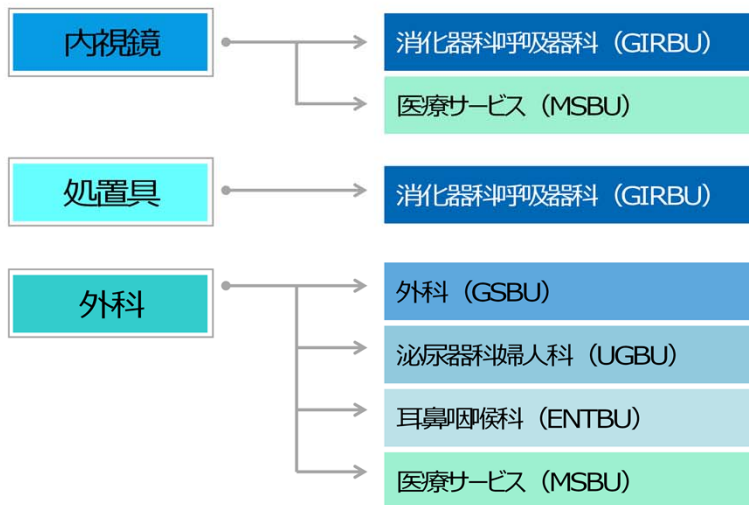
【参考資料】2018年3月期 セグメント別業績見通し（上期／下期）

(単位：億円)		2017年3月期（実績）		2018年3月期（見通し）		前年同期比（%）	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
		医療	売上高	2,718	2,986	2,840	3,140
	営業利益	596	551	550	680	▲8%	+23%
科学	売上高	404	530	460	490	+14%	▲8%
	営業利益	▲2	61	30	30	-	▲51%
映像	売上高	285	343	310	330	+9%	▲4%
	営業利益	▲14	15	10	0	-	-
その他 （新事業）	売上高	81	59	50	40	▲38%	▲32%
	営業利益	▲22	11	▲20	▲40	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲206	▲278	▲220	▲230	-	-
連結合計	売上高	3,487	3,918	3,660	4,000	+5%	+2%
	営業利益	352	360	350	440	▲1%	+22%

【参考資料】医療事業ユニット（BU）別現地通貨ベース成長率開示について

■ 2018年3月期第1四半期より、BU別現地通貨ベース成長率を決算参考資料で開示

【組替後イメージ】



【BU別現地通貨ベース成長率】

BU別	1Q
GIR	0%
GS	5%
UG	2%
ENT	2%
MS	6%
Total	2%

※BU別売上高およびBU別成長率は、社内で定めたガイドラインに基づき売上高をBU別に集計し開示しております。
 経営管理向上を目的とし、前期中に会計システムの改修等を伴うガイドライン変更を実施したため、前期と当期の数値は集計方法が異なります。